

でんさい[®]の 支払/受取利用の流れ

「でんさい[®]」は株式会社全銀電子債権ネットワークの登録商標です。

株式会社全銀電子債権ネットワーク
(でんさいネット)

目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

1 でんさいの利用までの流れ

でんさい利用開始までの主な流れ

- でんさいは支払利用、受取利用ともに簡単な4ステップで利用可能です。（関連コンテンツについて、次ページでご紹介します。）

支払利用を検討の方

利用の検討

- コストメリット等を試算

取引先への案内

- 取引先へ案内状を送付

利用準備

- 取引金融機関と利用契約を結ぶ

支払開始

- 継続的に取引先に案内する

受取利用を検討の方

取引先から案内状が届く

- 案内状の内容を確認

利用の検討

- コストメリット等を試算

でんさい契約/回答

- 取引金融機関と利用契約を結ぶ

利用準備/受取開始

- でんさいの初期設定を行う

①

②

③

④

Point

でんさいを検討する主なきっかけ

- ① 全面的な電子化の報道等を踏まえ、社内で導入の指示があった
- ② 取引先/取引金融機関からでんさいへの切替案内があった

1 でんさいの利用までの流れ

必見

でんさいウェブサイトコンテンツ 「ご検討からご利用開始まで」

- 「まず何から始めたらいいのか分からない」場合は、本コンテンツをご参照ください。でんさいの導入までの流れをフロー図で説明しており、**全体像をイメージ**できます。
- でんさいの導入にあたってやるべきこと、活用できるコンテンツ、留意点などを時系列で確認できる**「チェックリスト（詳細版）」**をダウンロードできます。

「ご検討からご利用開始まで」ページ

でんさいのはじめ方を知ろう！



ウェブサイトの
「ご検討からご利用開始まで」
はこちら

「チェックリスト（詳細版）」イメージ

【受取利用に関するチェックリスト】			
でんさい ネット			
でんさいの受取を始めるにあたり必要となる作業の一例です。各項目の作業が終わったら、チェックをしていきましょう。			
STEP 1 案内文書が届く			
項目	作業内容	チェック	
① 内容の確認	取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。	☐	
STEP 2 利用の検討			
② コストメリットの試算	でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。	☐	
③ 社内事務・会計システムの確認	社内事務を確認しましょう。 会計システムを確認しましょう。	☐	
④ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。	☐	
STEP 3 でんさい契約・回答			
⑤ でんさいの利用契約	取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう。	☐	
⑥ 回答書の送達	取引先から届いた案内文書に回答しましょう。	☐	
STEP 4 利用準備・受取開始			
⑦ 初期設定	でんさいを取り扱う権限者等を設定しましょう。	☐	
⑧ 社内事務・会計システムの確認	社内事務および会計システムを整備しましょう。	☐	
【受取開始後】			
⑨ 他取引先への案内	でんさい受取を開始した旨を他取引先に案内しましょう。	☐	

受取開始

【受取利用に関するポイント】	
項目	ポイント
STEP 1 案内文書が届く	
① 内容の確認	✓ 取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。 ・特に手形からでんさいへの切替のタイミング（〇月〇日分より切替等）、でんさいにかかる金融機関手数料の負担有無はしっかりと確認しましょう。
STEP 2 利用の検討	
② コストメリットの試算	✓ でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。 ・手形受取に係る諸費用（取立手数料、領収書印刷、切手等）とでんさい受取に係る諸費用（でんさい基本手数料、でんさい入金手数料等）を確認し、手形からでんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。当会社ウェブサイトの「 でんさいコスト診断 」ページをご参照ください。 ・でんさい受取に係る諸費用（手数料）は、金融機関によって異なりますので、取引金融機関のウェブサイトをご確認ください。取引金融機関におけるでんさいの取扱い有無は、当会社ウェブサイト「 参加金融機関一覧 」ページでご確認ください。 ・なお、でんさいは、当事者間の合意で領収書を不要にできます。領収書を発行する場合でも、でんさい支払であることを併記書きに記載すれば領収税（印紙不要）となります。
③ 社内事務・会計システムの確認	✓ 社内事務を確認しましょう。 ・でんさいの取扱いにあたっては、支払条件（振込企業、金額、支払期日等）の確認や、手形と同様に記録作業が必要となりますので、担当者や事務手続を確認しましょう。 ・金融機関によっては、操作の体験版等をウェブサイトに掲載している場合がありますので、ご確認・お問い合わせください。 ✓ 会計システムを確認しましょう。 ・会計処理については、必要に応じて会計士や税理士にお問い合わせください。 ・確認対象は「会計処理方法」「勘定科目の追加履歴」「受取手段に『でんさい』を追加」であり、市販されている会計ソフトの多くはでんさいに対応していますので、まずはご利用中の会計ソフトの対応有無を確認しましょう。対応していない場合、改修やオプションの追加によって対応する方法もあります。また、利用件数が少ない場合、既存の会計ソフトを更新せずに、会計処理上手形と同様に管理する方法もあります。自社にとって最適な方法をお選びください。なお、手形番号に相当するでんさいの記録番号は、英数字 20 桁で構成されますのでご注意ください。
④ 社内決定	✓ 利用について社内決定をしましょう。 ・でんさいの移行によってコスト削減、事務効率化、リスク削減が図れる点などを挙げて、社内全体で意思を統一し決めていくことが重要です。また、社内勉強会を実施するなど、当社がでんさいを取り入れるメリットを共有することで、業務手続が変更となる部署等との調整がスムーズになります。

目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

支払開始までのステップ

STEP 1 利用の検討



コストメリットの試算

手形とでんさいの諸費用を確認
※金融機関によって異なります。



社内事務・会計システムの確認

でんさい支払開始までのスケジュールの立案や
支払条件等の検討、支払事務・会計処理等の確認



社内決定

社内全体で意思を統一し、メリット等を共有

支払開始までのステップ

STEP 2 取引先への 案内



取引先への案内

案内状を F A X 送信や手形郵送時に同封



回答の取りまとめ

取引先の「利用者番号」と
「決済口座情報」を集計・管理

支払開始までのステップ

STEP 3 利用準備



でんさいの利用契約

取引金融機関へのお申込み、契約形態の確認



初期設定

でんさいを取扱う権限者等の設定、
取引先情報の登録



社内事務・会計システムの整備

STEP 1 をもとに、各種整備

支払開始までのステップ

STEP 4 支払開始



支払テスト

グループ企業や親密先への振出



本格的に支払開始

(支払開始後)



他の取引先への案内



既存の手形支払先への 継続的案内

- でんさいの支払開始には導入決定から、概ね1か月～6か月程度要しています。

対応事項(例)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	～
検討開始									
でんさい導入の社内決定									
取引先への説明・意向確認									
でんさいの利用契約締結									
初期設定									
社内事務・会計システムの整備									
支払テスト									
本格稼働									

※対応事項および期間は、経理処理方法（自動消込の要否）、導入している会計ソフト（でんさい対応の要否）等により異なります。

目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

A株式会社 ・ 業種：卸売業 ・ 設立：1960年

方針 手形による支払を**原則ゼロ**

➡手形的利用ができ、かつ全国の金融機関で取扱いが可能な
でんさいを採用

導入の効果

■業務時間 平均43時間/月 ➡ 平均4時間/月 **1/10に軽減**

■印紙税 平均42万円/月 ➡ 平均0.4万円/月 **1/105に削減**

■支払方法別金額割合 手形97% ➡ でんさい97%(残りは手形、振込等)

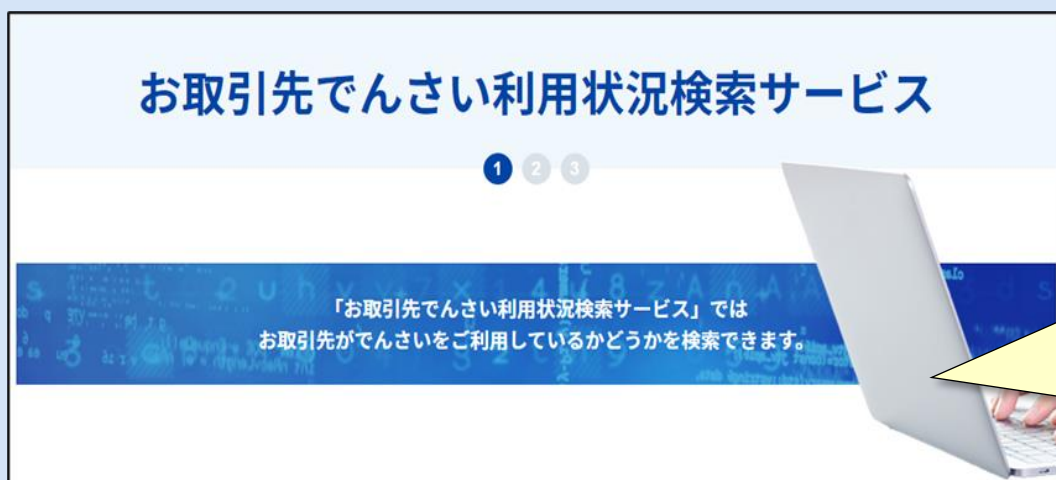
【導入する際に対応したこと】

- どのくらいの取引先がでんさいの利用契約をしているか

⇒「お取引先でんさい利用状況検索サービス」を活用

※でんさいネットウェブサイトで利用可能

事前にでんさいを導入している取引先を把握することで調整が容易に



【利用手順】（無料）

- ① 利用規約に同意する。
- ② 法人名称を入力し登記住所（都道府県、市区町村）を選択する。
- ③ でんさいの契約があれば、法人名、法人名カナ、郵便番号、登記住所が表示される※。

※個人事業者および検索対象からの除外をでんさいネットに申し出ている法人は検索の対象外となる

- 取引先向けアンケートを実施

⇒でんさいネットウェブサイト掲載の「案内状サンプル」から資料をダウンロード

事例紹介(支払企業)

■ 取引先にでんさいを勧める際のポイントを、実際の事例をもとにご紹介します。

- ① まず、でんさいへの切替にあたって取引先(手形受取企業)に案内状を送付し、取引先の意向を確認しました(ひな形はでんさいネットウェブサイト掲載中)。

【案内用紙】

【回答用紙】

2019年5月10日
お取引先様 各位

株式会社大銀電気

お支払方法の変更に関するご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社においては、お取引先様への代金の支払について、約束手形および振込を利用しておりましたが、2019年8月以降、ご同意いただいたお取引先様との間のお取引について、「でんさい」による支払いを開始させていただくことを予定しております。

つきましては、貴社において「でんさい」でのお支払を希望される場合は、下記『「でんさい」による支払について』をご記入いただき、返信用封筒またはFAX (03-1234-5678) で、ご送付いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

※「でんさい」でのお支払条件は、次のとおりとなります。

- ・毎月〇〇日締め、翌月〇〇日に、支払サイト〇〇日の「でんさい」で支払
- ・領収書発行不要

※「でんさい」のサービス内容は、でんさいネットのウェブサイト (<https://www.densai.net/>) をご覧ください。

※「でんさい」のご利用にはお取引金融機関所定の手数料が必要となります。

※お問い合わせ先：総務部 高橋、佐藤 Tel 03-1234-5678

「でんさい」による支払について

貴社名	株式会社全銀製作所		
住 所	東京都千代田区千代田 1 2 3 4 5		
ご担当課名	経理部	ご担当者様名	山本 みさき
電話番号	03-1234-5678	FAX 番号	03-1234-5678

貴社からの支払を「でんさい」で受取るよう申請しますので、利用者番号および決済口座情報を通知します。

利用者番号	0	1	2	3	4	A	B	C	D
決 済 口 座	金融機関名		全国銀行		金融機関コード		9	9	9
	支 店 名		東京支店		支 店 コード		0	0	1
	口 座 種 別		☒ 普通 ☐ 当座		口座番号		1	2	3

以 上

※でんさい以外に、お互いにとって良い決済方法があればお取引先様からご提案いただくために、上記に加え「その他」の欄を設けました

② 取引先からいただいた質問事項等に対応しました。



パソコンの操作は苦手で、、、

でんさいネットウェブサイトには、でんさいのサービスを提供している「金融機関一覧」と「操作体験版」を掲載しております。ぜひ操作して慣れてみてください。



紙でやってきた手続きを電子化するのに抵抗感がある

「全面的電子化チラシ」を使用し、2026年度末までに紙の手形等の全面的な電子化が必要であることを伝えましょう。「いつまでに」「何をしなければならないのか」を伝えるのが重要です。



手形の裏書先がでんさいに対応していないんだよね、、、

裏書先に対しても本セミナーをご案内いただいたり、でんさいネットウェブサイトに掲載されている「セミナー動画」をまずはご視聴いただくようお勧めしてください。



手形との二重管理は不便じゃないかしら、、、

手形と比べでんさいは事務負荷が大幅に軽減されるので、一部切り替えで手形とでんさいが併存した場合であっても、トータルの事務負荷は軽減されます。

Point

- ・取引先（手形受取企業）が感じている疑問点や苦手意識を取り除いてあげることが、スムーズなでんさいへの切替をお勧めするポイントになります。
- ・切替を断られた取引先に対しては、断られた理由をしっかりと記録しておき、その理由を解消できるよう粘り強く交渉しましょう。

■ でんさいで受け取らないと回答があった取引先に対するA株式会社の対応策

取引先が受け取らない理由	A株式会社の対応策
手形との二重管理を不便に感じる	一部切替でもメリットが出ることを説明
社内システムの変更が必要となる	システム更改以外にマイナーチェンジでも対応できないか確認
手形の裏書先が対応していない	裏書先への説明を依頼
グループの方針として利用しない	取引先から取引先親会社に利用を依頼

Point

取引先（受取側）に案内状を送るときのポイント

- ・取引先に他の郵送物を送るときの「**ついで**」に同封
- ・ただ送るだけでなく、「**ひとこと電話等でアプローチ**」を添える
- ・「**期限を区切って**」案内、送りっぱなしにしない
- ・「**継続的に**」アプローチ（初回、取引先から返信があるのは半分程度のケースも）

手形支払ゼロに向け、引き続き
取引先に切替の案内継続中

目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

受取開始までのステップ

STEP 1

案内状が
届く



内容の確認

でんさいへの切替時期、
金融機関手数料の確認

受取開始までのステップ

STEP 2 利用の検討



コストメリットの試算

手形とでんさいの諸費用を確認

※金融機関によって異なります

当事者間の合意で領収書をなくすことも可

※領収書を発行する場合でも、でんさい支払であることを記入すれば非課税



社内事務・会計システムの確認

支払条件や会計処理等の確認



社内決定

社内全体で意思を統一し、メリット等を共有

受取開始までのステップ

STEP 3

でんさい
契約・回答



でんさいの利用契約

取引金融機関へのお申込み



回答書の返送

取引先に「利用者番号」と、
「決済口座情報」を回答

受取開始までのステップ

STEP 4 利用準備・ 受取開始



初期設定

でんさいを取扱う権限者等の設定



社内事務・会計システムの整備

STEP 2をもとに整備



受取開始

(受取開始後)



他の取引先への案内

請求書や領収書郵送時に同封、FAXでの送信等

- でんさいの受取開始には、支払企業からの案内状受領後、概ね1か月～3か月程度要しています。

対応事項(例)	1月	2月	3月	～
支払企業からの案内状受領、導入検討（支払条件の確認等）				
でんさい導入（受取）の社内決定				
でんさいの利用契約締結				
でんさい受取可能の回答送付（利用者番号・決済口座情報の通知） ※支払企業情報の登録（指定許可機能を利用する場合）				
でんさいの受取開始				

※対応事項および期間は、経理処理方法（自動消込の要否）、導入している会計ソフト（でんさい対応の要否）等により異なります。

目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

5 事例紹介(受取企業)

B株式会社 業種(製造業) 1952年設立

【背景】

- 何度か複数取引先からでんさいの切替案内を受ける
 - 手形の電子化(2026年度末)について報道を通じて知る
- ⇒金融機関の担当者に相談。

【検討事項】

- 何から検討したらよいか分からなかった
- ⇒でんさいネットウェブサイトの「ご検討からご利用開始まで」から資料をダウンロード

⇒チェックリストに沿って検討を開始

【受取利用編】

【受取利用に関するチェックリスト】 

でんさいの受取を進めるにあたり必要となる作業の一例です。各項目の作業が終わったら、チェックをしましょう。

STEP 1 案内文書が届く

項目	作業内容	チェック欄
① 内容の確認	取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。	☐

↓

STEP 2 利用の検討

② コストメリットの試算	でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。	☐
③ 社内事務・会計システムの確認	社内事務を確認しましょう。	☐
	会計システムを確認しましょう。	☐
④ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。	☐

↓

STEP 3 でんさい契約・回答

⑤ でんさいの利用契約	取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう。	☐
⑥ 回答書の送達	取引先から届いた案内文書に回答しましょう。	☐

↓

STEP 4 利用準備・受取開始

⑦ 初期設定	でんさいを取り扱う権限等を設定しましょう。	☐
⑧ 社内事務・会計システムの確認	社内事務および会計システムを整備しましょう。	☐

↓

受取開始

【受取開始後】

⑨ 他の取引先への案内	でんさい受取を開始した旨を他の取引先に案内しましょう。	☐
-------------	-----------------------------	--------------------------

【B社(受取企業)が感じたメリット】

手形のデメリット

受領業務や
受領した手形の管理が面倒

支払期日の翌営業日以降にしか
資金化できない

紛失・盗難・取立失念のリスク

任意の額に複数枚に分けて
手形振出を依頼

でんさいのメリット

金融機関への**取立依頼が不要**

支払期日**当日から資金利用可能**

現物がないため**リスク解消**

満額受け取り、
任意の額で**分割譲渡が可能**

Point

支払企業ばかりメリットを感じていたが
自社(受取企業)でも多くのメリットがあることを確認

【導入に際しての社内調整】

- 担当者・所属部署のでんさいへの理解度向上
⇒ **でんさいネットが提供している説明資料を請求(無償)**
- 取引金融機関のサポートデスクに電話して疑問を解消
- 取引先に説明する営業部署と経理部署で、社内勉強会を開催
(**でんさいネット職員に講師を依頼(無償)**)し、事前に社内でメリットを共有する

<でんさい説明資料>



でんさいネット
ウェブサイトから
無償で請求可能
(全8種類)

5

事例紹介(受取企業)

【B社が実際に利用するまでのスケジュール】

- 支払企業から案内状を受領して、でんさいの受取開始するまで
約2ヶ月半かった
- 適宜、取引先に対して、でんさいの受取が可能になった旨連絡中

対応事項(参考)	4月	5月	6月	7月
支払企業からの案内状受領、社内導入検討（支払条件の確認等）				
でんさい導入（受取）の社内決定				
でんさいの利用契約締結（約2週間）				
でんさいの受取利用の開始				
でんさい受取可能の回答送付（利用者番号・決済口座情報の通知） 過去にでんさいでの受取依頼があった取引先に案内⇒継続的に対応				

※対応事項および期間は、経理処理方法（自動消込の要否）、導入している会計ソフト（でんさい対応の要否）等により異なります。

B株式会社からメッセージ

- まずは担当者自身がでんさいの知識を身に着けるように、取引金融機関のサポートデスクに電話して不明な点を解消した
- 取引先(支払企業)ばかりにメリットがあると思っていたが、始めてみると自社(受取企業)も“コスト削減”や“事務負荷軽減”のメリットがあった
- でんさいの受取利用に慣れてきたので、近々支払利用に向けて検討中

でんさいの受取利用導入は思った以上に簡単。

Point

- ・ 操作方法を事前に体験することで2ヶ月程度で慣れた。
- ・ でんさい1件受け取る方が手形1件受け取るよりラク

でんさいネットウェブサイトを活用して
効率よくでんさいへの切替をご検討ください。
詳細は次のページからご説明👉



目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

6 ウェブサイト(コスト診断)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ コスト診断

- 手形からでんさいに切り替えた際のシミュレーションツールを2種類（「かんたん版」と「しっかり版」）掲載。
- 「コスト削減の実額が表示されるので、社内検討が進めやすくなった」との声をいただいています。

「コスト診断（かんたん版）」ページ

現在の手形取扱い枚数（月間）をご選択いただくだけで、
コスト削減額の概算を算出

かんたんコスト診断

しっかりコスト診断

手形枚数選択

留意事項・算出条件はこちら

現在の御社の手形取扱いに近い枚数をご選択ください

支払手形（月間）

0枚 10枚 30枚 50枚 100枚

取立手形（月間）

0枚 10枚 30枚 50枚 100枚

裏書譲渡（月間）

0枚 10枚 30枚 50枚 100枚

コスト診断結果

診断結果を印刷する

年間 53,040円 のコスト削減

手形のコスト 120,360円

でんさいのコスト 67,320円

約 44.1% 削減

コスト（年間）

【しっかりコスト診断】

お客様の実際の金額を記入いただくことで、**より具体的なコスト削減額が算出**されます※

※金融機関の手数料は各金融機関で異なります。詳しくは取引金融機関にお問い合わせください。

6 ウェブサイト(でんさいアカデミー)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ でんさいアカデミー

- でんさいを知らない取引先に向けた、でんさいを案内するためのリーフレットやチラシ等を無償で配付中（※送料もでんさいネットが負担）。
- 「セミナー動画」を掲載しており、動画でいつでも視聴が可能。

「でんさいアカデミー」ページ



「セミナー動画」イメージ



基本的な仕組み等を説明
スマホやタブレットでも視聴可能

無償配付中のツール

- ・リーフレット（はじめての方向け）
- ・導入案内チラシ（手形ご利用者向け）
- ・マンガ冊子（より簡単にでんさいを知りたい方向け）
- ・パンフレット（より詳しく知りたい方向け）

6 ウェブサイト(事例紹介ページ)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ 事例紹介

- でんさいネットウェブサイトには、中小企業をはじめとするでんさい利用企業に導入経緯や効果などを掲載中。
- でんさい導入検討中の企業はぜひ参考にさせていただきつつ、すでに利用されている企業はウェブサイトへの掲載のご検討をお願いします。

「事例紹介」ページ



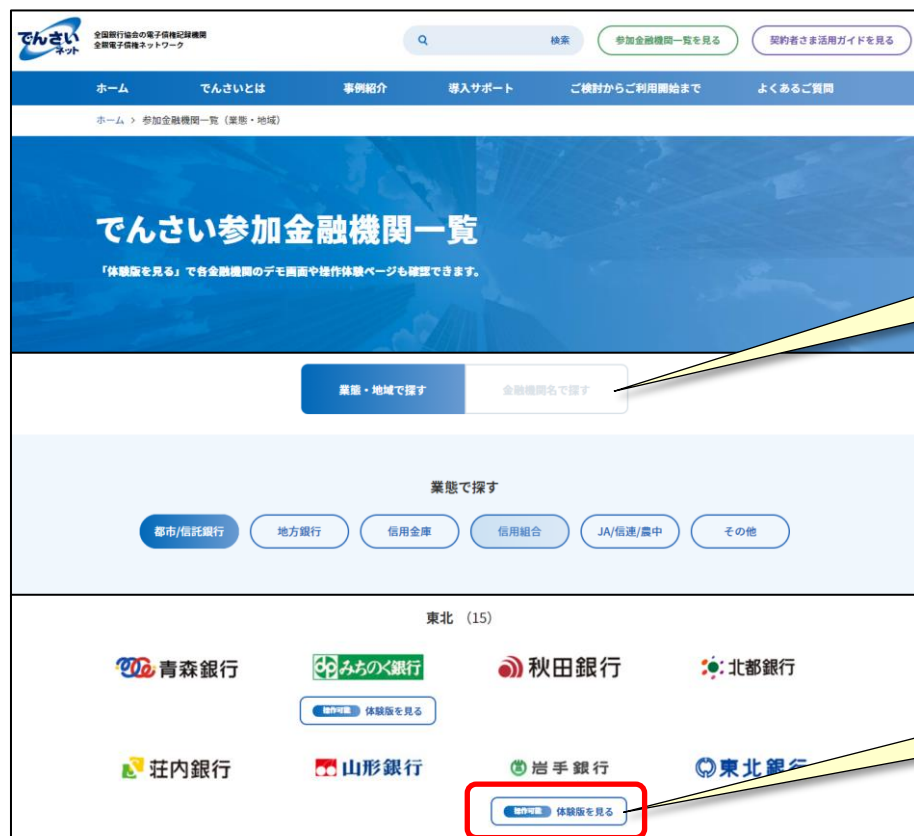
中小企業の導入事例を
多数掲載中

貴社情報やでんさい利用情報
等の掲載でPR効果も
(掲載料は無料です)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ 参加金融機関一覧/体験版

- でんさいのサービスを提供している金融機関一覧と操作体験版を掲載。
- 実際取引金融機関の操作画面を確認いただけるので、でんさいの操作に対する不安をお持ちの方はぜひご利用下さい。

「でんさい参加金融機関一覧/体験版」ページ



＜業態・地域で探す＞
＜金融機関名で探す＞
の2つの検索方法をご用意

でんさい参加金融機関ロゴ下にある
＜体験版を見る＞をクリックすれば、
実際のでんさいの操作体験が可能※

※金融機関によっては操作
体験版を提供していない
場合もあります